



令和4年度「特色ある学校づくり対策事業」

佐世保市立早岐小学校

創 立 明治7年(148年目)
所在地 佐世保市早岐2丁目32番12号
校 長 尼崎 悦朗
児童数 630名 学級数 26学級
(R4年 5.1現在)

つながる心もち 夢に向かってがんばる子ども
～ 自ら学び かかわり きたえる児童の育成を通して ～

目 的

- (1) 生きて働く「知識・技能」、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の育成を意識した教育課程を編成し、子どもたちの資質・能力向上を目指す。
- (2) 地域とともに歩む学校づくりに沿った教育課程を実施し、子どもたちに地域を知り、地域の教育力を活用した「ふるさと教育」の実践を図る。
- (3) 潤いのある教育環境と温かい人間関係の醸成に取り組み、心豊かな児童が輝く学校づくりを図る。

運 営

令和4年度、早岐小学校教育目標である『つながる心もち夢に向かってがんばる子どもの育成』を、本年度の特色ある学校づくりの主題として設定しつつ、副主題を『自ら学び かかわり きたえる児童の育成を通して』とした。

本校の特色は、早岐茶市や早岐瀬戸など、長い歴史に育まれた地域性や豊かな自然である。地域教材となるこれらを生かし、児童の発達段階や興味・関心に基づいて、右の図のような様々な取組を行えば、児童は主体的に学びに向かい、友達やゲストティーチャーなどとかかわり、様々な見方・考え方を働かせながら、自らの思考力・判断力・表現力を鍛えていくであろう。そして、最終的な目標である「夢に向かってがんばる子ども」の育成につなげていく。



活動の実際

道具づくりと遊び体験

1年生は、特色予算で購入したシャボン玉遊びの道具づくり及び遊び体験をとおして、友達との交流を深めるとともに、学校が楽しいところであることを理解することができた。このことは、入学期の学校への抵抗感、いわゆる小1ギャップを緩和することにもつながった。



教材開発

毎週木曜日の朝の活動を「漢字タイム」とし、市販の漢字教材や独自教材を利用して、練習問題に取り組ませている。

漢字検定協会が主催している「漢字検定」を1月20日に実施するとしたところ、81名の児童が参加の意思を表明し、

自主的に漢字練習に取り組む児童が増えた。また、実際に受験した81名の児童のうち、74名(91.4%)が合格するなど、基礎学力の向上が見られた。



学力向上

1年生から3年生において学力調査を行ったことで、市、県、国が実施する学力調査と連携し、全校児童一人一人の実態に応じた指導が図られるようになった。今後、より個に応じた指導を図り、学力の向上につなげていく。

また、本年度は、ICT端末をどのように授業に活用するかを校内研修の柱の一つとしたことによって、学校評価における「子どもに、わかりやすい授業をくふうし、実践している。」の項目において、保護者が昨年度の3.3ポイントから、令和4年度の3.4ポイントへ0.1ポイント、児童が昨年の3.2ポイントから、令和4年度の3.4ポイントへ0.2ポイント上昇するなど、教員の資質向上に成果があった。



栽培活動

季節ごとに花や野菜を育て、毎日の水やりや成長の記録を行った。野菜が収穫できた時や花が咲いた時には、子どもたちは生命のすばらしさを感じることができた。学校評価における「子どもは生命を大切にしている。」の項目は、昨年度から、0.1ポイント上昇の3.7ポイントであった。



福祉教育

4年生は総合的な学習の時間に、社会福祉協議会などとの連携のもと、実際に視覚・聴覚障害を持った方をゲストティーチャーとして招き、福祉に関する話を聞いたり、車いす体験やアイマスク体験を行ったりした。

子どもたちは福祉の重要性に気付くとともに、同学年や特別支援学級の友達に対して、より優しく接する姿が見られるようになった。



ふるさと学習

3年生が教育委員会文化財課の協力のもと、校区内で調査が進んでいる「早岐瀬戸遺跡」を見学し、地域の歴史のつながりについて、体験を通して学ぶことができた。

また、校区内の寺や神社などの史跡巡りを行ったことで、郷土への関心を高めることができた。

昨年、感染症防止のため開催されなかった恒例の「早岐茶市」が再開し、実際の見学をとおして、地域とのつながりやそこで働く人の様子を学ぶことができた。



平和学習



4年生の平和学習では、実際に原爆資料館や平和公園を訪れ、全校児童の願いがこもった千羽鶴を奉納した。その際、特色の予算を活用し、平和案内人をゲストティーチャーとして呼ぶことができたため、

戦争の悲惨さや当時の生活の様子について体験的に学ぶことができた。見学後は、学習のまとめを8月9日の全校平和集会において発表し、平和への考え方を全校にも波及させることができた。



キャリア教育

6年生が総合的な学習の一環として、地域の講師を招き、「着付け教室」を行った。実際に一人一人浴衣の着付けを体験したことで、児童は日本の伝統文化である着物や浴衣について理解を深め、日本の伝統的な所作に関心や興味をもつことができた。



【文化芸術巡回公演オペレッタ鑑賞】(2年生と3年生)

日本の一流の文化芸術団体による「舞台芸術」を鑑賞する機会を得た。ワークショップでは、実演・鑑賞指導もあり、代表児童が演技を行った。コロナ禍による制限で、大きな舞台で発表する体験が減少する中、迫力ある演劇に体験的に参加することで、表現することの素晴らしさや、演劇にかかわる人たちの思いについて学ぶことができた。

